

名古屋市立稲永小学校で防災教育を支援しました



名古屋市立稲永小学校



土岐川・庄内川流域治水協議会が持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



国土交通省
SHONAI RIVER OFFICE

令和4年11月1日(火)に名古屋市立稲永小学校の5年生を対象に、「自然災害を防ぐ」をテーマとした防災教育の支援を行いました。今回の授業では、児童たちがこれまで自然災害に対して勉強してきた中で抱いた疑問を解決することを目的に、近年の大規模水害や東海豪雨の様子や流域治水などの公的な対策について紹介し、質問形式で行いました。



授業風景



手を挙げて質問や感想を伝えてくれました



流域治水について説明する高橋総括地域防災調整官

【対象校】 名古屋市立稲永小学校5年2組の児童

《児童たちからの質問》

- 地球温暖化は自然災害に影響していますか？
- 流域治水では具体的にどんなことをやっていますか？

《児童たちの感想》

- 貴重なお話が聞けて良かった
- スライドを使って説明していただいたのでイメージが湧いた
- これからはしっかりと防災のことを勉強して周りの人に伝えていかないといけない